

# 安心な暮らしのために意見書を提出

狭山市立中央図書館



狭山市駅西口から見た旧中央公民館等跡地

3月定例会  
2月24日～3月21日

第1回定例会では、「平成29年度予算」や「財産(旧中央公民館等跡地)の処分」など、23議案が市長から提出されました。議長を除く21人の議員で採決し、すべての議案を原案のとおり承認・同意・可決しました。

## 今回可決された意見書

議員提出議案第1号  
精神障害者に対する公共交通機関の運賃割引制度適用を求める意見書(要約)

昨年4月「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」が施行され、埼玉県でも身体・知的・精神の3障害者の支援を進めている。一方で、鉄道、バスなどの公共交通機関では、運賃割引制度を設けているが、精神障害者を対象とするものは少ない。障害者の自立や社会参加を促進し、共生社会を実現するためには、公共交通機関などの移動手段の確保が必要不可欠であり、これは精神障害者であっても同様である。

よって国においては、精神障害者も身体障害者や知的障害者と同様に、運賃割引制度の適用対象とすることを働きかけるよう強く要望する。

議員提出議案第2号  
国民健康保険制度の財政基盤の強化を求める意見書(要約)

国民健康保険制度安定化のため、平成30年度からは県が市町村と国保の運営を担うこととされている。

国保を持続可能な社会保障制度として維持するため、財政基盤の強化が不可欠であり、国保の財政基盤強化・制度の安定化のため、以下の事項を国に強く要望する。

- ①国費拡充の実施とともに、国保財政基盤の拡充・強化を図り、国の責任と負担において実効ある措置を講ずること
- ②低所得者層に対する負担軽減策を拡充・強化すること
- ③医療費助成制度に対する国庫支出金の減額措置を廃止すること

## 主な議案審議

◆財産の処分  
旧中央公民館等跡地を処分するもの

Q 住民説明会では、どのような意見があったのか。

A 民間事業者を活用して整備する方針とした理由、定住促進施設であるマンションの周辺地域への影響、にぎわい施設の機能と継続的な運営、跡地の一部が土砂災害警戒区域に指定されていることへの対応など。一部に反対意見はあったが一定の理解は得られたと認識している。

## 委員会提出議案

◆委員会条例の一部改正  
組織改正に伴い、所管する課名を変更・削除するもの

提出委員会 議会運営委員会

## 議員提出議案

◆精神障害者に対する公共交通機関の運賃割引制度適用を求める意見書  
提出議員 金子 広和

◆国民健康保険制度の財政基盤の強化を求める意見書  
提出議員 猪股 嘉直

## 親元同居・近居支援事業で、市内転居者は補助の対象となるのか。

A 29年4月1日以降に市外から狭山市に転入する子世帯を対象にしたもので、市内に住宅を購入または同居のために増改築した場合に補助金を支給する。事業の趣旨から、市内転居者は現段階では補助金の対象としない予定だが、29年度中に方向性を出したい。

加を指す取り組み。民間事業者の参入を視野に入れ、公園の機能を充実させるための整備を行う。

Q 入曽駅の調査・設計はどのような計画か。

A 入間小学校跡地と狭山茶業農業協同組合から購入した用地などを活用し、駅周辺の土地利用計画の策定と計画を実現するための事業手法などを基本計画案として取りまとめている。

## 平成29年度一般会計予算

歳入歳出  
430億1千600万円

Q 旧入間中学校と旧東中学校の撮影などの使用に伴う行政財産使用料は。

A 旧入間中学校は、すべての土地・建物を使用した場合、1日12万4千300円となる。また、旧東中学校は、すべての土地・建物を使用した場合、1日15万9千300円となる。

## 健康長寿埼玉モデル事業の参加内容は。

A 埼玉県が、健康寿命の延伸と医療費の抑制を目指して推進している健康長寿埼玉モデル事業の推奨プランのうち、日常的な歩数よりも1千歩多く歩くことを目標とする「プラス1千歩運動」と、歩数をポイント換算してインセンティブ(目標達成の誘因)を付与する「埼玉県コバトン健康マイレージ事業」に参加する。

Q 狭山市駅東口区画整理

Q 富士見小学校のトイレ

A さやまっ子茶レンジスクールが目指すものは、基礎学力の定着や家庭学習の習慣化である。学習支援の充実を図るとともに学校における授業の質の向上に努め、さやまっ子全体の学力向上を推進したい。

Q 和式便器を洋式にするほか、トイレの床、壁、天井の改装とあわせ、老朽化の著しい給排水管や照明器具の更新なども同時に行い、衛生的で管理しやすい快適なトイレ環境を確保していくもの。

## 介護保険特別会計

Q 自立支援型地域ケア会議が指すものは。

A 介護保険制度の理念である個人の尊厳の維持と自立支援を実現するため、生活機能の維持改善を行うケアプランとすることを多職種で検討する。

Q 運営方法は。

A 29年度から毎月定期的な開催予定。ケア会議で検討したプランは、おおむね6か月後をめどに実際の効果の評価会議も実施し、個別性と専門性の高いケアマネジメントが提供できる体制づくりを進める。

◆一般会計補正予算(第7号)  
Q 入間川とことん活用プロジェクトの全体像は。

A 潜在的な観光資源である入間川の親水空間に安らぎとにぎわいを創出することにより、新たな人の流れを生み出し、交流人口の増

Q 入間川とことん活用プロジェクトの全体像は。

A 潜在的な観光資源である入間川の親水空間に安らぎとにぎわいを創出することにより、新たな人の流れを生み出し、交流人口の増